



どこか輝いてみえる
「仕事」をしているあの人にズームアップ。

大好きな海を みんなと共有したい

今年、開館11年目を迎える「しまね海洋館アクアス」(島根県浜田市久代町)。島根の海から日本の海、そして世界の海へをテーマに島根県から水族館の新しい形を発信している。なかでもシロイルカの繁殖、飼育には特に力を入れており全国からも注目を集めている。

館内では、島根の海をはじめとした魚がゆったりと泳ぐ姿や、愛らしいシロイルカの姿が見られ、目を輝かせた子ども達の楽しそうな声が響いている。入館者を元気に迎えてくれるのが「アクアメイト」と呼ばれる女性たち。「受付から施設案内、MCまで何でもやります」と笑顔で語る宇佐美さん。

水族館で働くのが夢でした

「もともと海が大好きで子供のころから水族館で働きたかったんです。だから水族館で働けるなら全国どこでも行くつもりでした」。千葉県出身の宇佐美さんは淡々と話す。夢に向かってまっすぐ進む姿は、強さと共に自然さを感じさせた。好きだから仕事にしたい、好きだからみんなに良さを伝えたい、とてもシンプルだ。だからこそ水族館に来館されるお客様に純粹に海や自然の素晴らしさを伝えることができる。汚れない言葉は人の心に届き、染みこむのだから。「私にできることは、大好きな水族館から自然の素晴らしさを発信し環境を良くしていく

しまね海洋館アクアス
アクアメイトリーダー

宇佐美 由佳さん

ことです」との言葉が透き通るように聞こえた。

コミュニケーション大切に

宇佐美さんのこれからの夢は「アクアスを島根県ならではのゆつくりとした時間を提供できる温かい水族館にしたいです。そして「シロイルカの繁殖、飼育と言えばアクアス」と言われるような草分け的存在になりたい!かな」。照れながらもしつかりとした口調で答える。今年4月22日にオープンした保護、繁殖を目的とした「新シロイルカプール」の今後楽しみだ。



最近夢中になっているのは、中国語のレッスンとアロマテラピーの勉強だそうです。「施設には中国人のお客様も来られますし、浜田市は水産加工が有名で、中国からの研修生が自宅の近所にもたくさんいます」。この言葉に何事にも前向きで、公私共にコミュニケーションを大切にしている宇佐美さんの人柄がにじむ。また「アロマテラピーは身体に良いことを追求する中で何となく行き着いたんです。でも、まだまだ勉強中なんです」と笑う。宇佐美さんの言葉はどれも飾ることのない、素直な言葉に感じられた。